

職員による自己評価

A 環境面

環境面に関しては適切。職員に関しては配置数に配慮し、また専門性を高めることで子どもの個別のニーズにより応えられるような体制を整えていきたい。

B 児童への支援内容

日々の振り返り、打ち合わせに関しては十分に行われ、適切なアセスメントに基づき子どもたちの活動が計画されている。

C 関係機関との連携

保護者との連携は面談や LINE などの通信手段を活用し、綿密に行われている。児童発達支援センター等の専門機関や他事業所との連携に関してはより一層促進したい。

D 保護者への説明責任・信頼関係

運営規定や支援内容の説明、保護者からの悩み等に対する相談は個人情報に配慮し十分に行われているが、保護者同士の連携の機会については検討課題。

E 非常対応

避難訓練は今後行う予定。アレルギー、持病がある子への対処は保護者の方に確認し職員に周知している。

保護者による評価

A 環境面

環境面、職員の配置数・専門性に関しては適切。バリアフリーに関しては「どちらともいえない」の意見が多かったので、保護者の方に教室環境を見ていただく必要も。

B 児童への支援内容

放課後等デイサービス計画には非常に満足していただいているが、活動プログラムの多様なあり方がやや求められている。

C 事業所からの情報発信

子どもや保護者への情報開示、また意思疎通は十分になされている。保護者同士の連携については希望する声もあった。

D 非常対応

非常時等の対応マニュアルや避難訓練に関しては不十分ではないものの、「どちらでもない」の回答が目立った。

E 満足度

子どもの通所、とくに事業所の支援に関しては非常に満足している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・適切な計画の作成とそれに伴う支援内容に関しては、説明責任が果たされていることも含めて相互に高評価である。
- ・児童や保護者との意思疎通、情報の開示伝達は適切になされている。

【相違点】

- ・保護者会や父母会の実施により保護者同士の連携を望む声もあった。
- ・職員の専門性と配置数に関しては保護者の方々からは適切との評価をいただいているが、子どもたちの個別のニーズにより丁寧に対応していける運営体制を吟味し、適宜改善に努めたい。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・子どものニーズや課題に関して、また日々の支援内容に関して振り返りや打ち合わせが綿密に行われ、支援の質の見直しを常に図っている。
- ・職員間で子どもの発達の状況を多角的に分析し共有することで計画や支援内容に偏りが生じないように配慮している。
- ・面談の実施やLINEによる日々の活動報告の充実により、支援内容が明瞭化され保護者の方々に安心していただいている。
- ・送迎利用の方がほとんどなので、学校行事やご家庭の都合等に合わせ時間調整をし、都度対応している。

事業所の改善点

- ・これまで保護者会や父母会を実施したことはないため、保護者への活動支援・交流支援の機会が十分とは言えない現状である。
- ・活動は事業所内で行われているため、児童館や放課後児童クラブのような場で、障害のない子どもたちと接する機会がほとんど持てずにいる。
- ・非常災害時の対応に関しては、まだ訓練を実施したことがないので今後定期的実施していく必要がある。
- ・児童発達支援センター等の専門機関や就学前に利用していた施設等、連携体制に対する視野を拡げていく余地がある。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者会や父母会の実施、さらに保護者対象の勉強会の開催を検討していく。
- ・地域にひらかれた事業運営を図っていく点からも盆踊り、地域まつりのような行事に参加することで、障害のない子どもたちとの交流の機会を検討していく。
- ・非常災害の発生に備え、ヘルメットを購入し定期的に避難訓練を実施する。また保護者の方に対しては、非常災害を含めた緊急時の対応に関して契約の際に説明をしていく。
- ・子どもの所属する学校はもちろん、児童発達支援センター等の専門機関、就学前に利用していた施設や他事業所等、関係機関への訪問や連絡を密にすることで連携体制を強化していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

「不安に思っていることを親身に聞いてもらえている」、「子どものやる気をひきだしてもらえている」などのお声を多数いただき、大変励みになりました。

中でも最も高評価をいただいたのが「保護者の方々への説明等」に関する項目群でした。今後も個別支援計画の交付やモニタリングの際、また日々の活動報告によって保護者様と細やかに連携を取ることで、子どもたちへの支援がより一層実りあるものになるよう努めたいと思います。

事業所名 オレンジスクール 小岩教室

担当者 児童指導員 加瀬ひとみ